

話題  
沸騰!

# 金児昭の新刊本

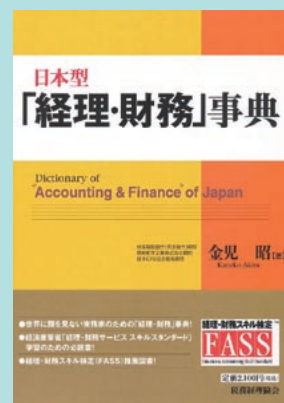
日本型

## 「経理・財務」事典

発行：税務経理協会

著者：金児昭

定価：二、一〇〇円(税込)



### 川上徹也

パナソニック株式会社 経理大学 学長

●世界に類を見ない実務家のための「経理・財務」事典！

●経済産業省「経理・財務サービススキルスタンダード」

学習のための必読書！

●経理・財務スキル検定(FASS)推薦図書！

(「BOOK」データベースより)

金児さんとの出会いは愛読書「星の

王子さま」だったかもしれない。お互いに驚いて顔を見合わせた。初対面での対話は途絶えることなく延々と続いた。それ以来パナソニックの経理会議に講師として招いたり、公私にわたり随分お世話になった。この度『日本型「経理・財務」事典』の出版となった。辞典(dictionary)ではなく事典(encyclopedia)というのは、百科全書、専門事典という意味らしい。個性あふれる役に立つ事典が誕生したものである。

### 難ついでを易く

過去の著書から引用された経営管理、ノウハウがちりばめられて集大成されたもの。網羅的に会計知識を力バーしており、今更聞きづらいこともこれを読めば解る簡潔な経営管理読本になっている。経営に参画する人々を「心から応援したい」事典になった。

「難しいことを易しく」——これは私がとても大切にしている言葉であり、やり方である。金児さんと会って全く同じことを言う人がおられたと感激したことを思い出す。このことが事典の

中にもよく生かされている。他人に解説する時も、テキストとしてとても役立ちそうな気がする。

### 個性あふれる

①「まえがき」部分に、著者のこの事典にかける熱き思いが書かれている。  
②「目次」についても、項目の設定が大変だと思うが、著者の実体験知識からくる見識の高さがうかがい知れる解説項目になっている。

③金児さんらしい(ユーモアあふれる)アルファベット目次の最初がなぜ「B dance」からなのか笑ってしまう  
●金児のフキ(book-keeping)

●「経理・財務」は人を幸せにする

●「金庫番」これは用語解説というよりも、会社の経理パーソンのあり方そのものを表現している

### 解り易く

『図表で読み易い』  
重要手順、難解な事項を解りやすく解説してある。

『大判で半ページ』

読み物のように読めるし、例えば、税務、株式などかなり掘り起して関連事項を周辺に集めてあるので体系的にもとらえ易い。したがって、一般的な解説辞書的でなく、物語り風に読めるところも多い。

ただ、理解の前提条件として、会社の活動はすべて「残」「増」「減」「残」であらわされる。私たちは日々、会社の中や外でいろいろな活動をしている。そうした活動を金額の「はじめの残」「増」「減」「終わりの残」を捉えていくのが経理、財務の仕事である。そしてこの「増」「減」こそが、販売・製造・研究の人たちを中心に進められる経営そのものであるということベースにきちんと解った上で読んでいく必要がある。

これだけの事典編集が二、一〇〇円はかなり安いと感じる。会社でも社内教育用に使えるそうだし、個人としても勉強用に手頃である。

### おわりに

「B/Sを大切にする経営」「経営会計」など金児さんの思想がよく表現されており、経営をとりまくさまざまなことを多面的にとらえ、金児流に料理したすばらしい事典である。

英語目次の中に何故か「deep jealousy」という単語があり、文字通り「深い嫉妬」と訳してあるが、どうしてこんな言葉が入っているのか理解し難い。

この本を読んでみて、私は金児昭さんの豊かなタレントにdeep jealousyを改めて抱くもの一人である。